

ID	tweet	コメント
	(A)自分の正しさを疑う	
17	私は正直、患者さんの痛み、苦しみを十分に理解できません。私は、患者さんのことをほとんどわかっていないという気持ちで、患者さんに接した行きたいと思います。だからこそ、今患者さんが何を考え、どのような気持ちでいるのかを知ろうとします。そのために、患者さんの話を聞き、患者さんの表情をみるようにします。	
17	私は、あなたの痛み、苦しみを全て理解できません。だからこそ常に聴き、常にあなたに問います。医師として、あなたの苦しみを想像し、あなたを理解したいと願い、努力しつづけたと思います。	
17	私は正直、患者さんの痛み、苦しみを全て理解できません。全ての病気に罹って患者さんの真の苦しみを理解することは不可能です。しかし、その気持ち、感情、感覚を理解するために患者さんの話を聞き、患者さんの表情をみます。	
17	「私は貴方の痛みや苦しみを完全に理解することはできません。この限界を知った上で理解しようと努力します。」	
205	私は患者さんが等しく医療を受ける権利を尊重するとともに、医療を受けない権利も尊重します。十分な理解とともに患者さんが私の提案する治療を拒否したとき、私はインフォームド・コンセントが達成されたと考え、その拒否を前向きに受け入れます。	
205	私は、医師として自分が最善と思う選択肢について説明します。医師と患者の思いはしばしばずれがありますが、あなたが自分自身のためにする選択の過程に寄り添いつづけます。医療を受ける権利も、私の勧めた医療を受けないという選択も、どちらも尊重します。	
N	私は、私の中でベストと考える診療方針を想像しますが、患者にとって最良の診療方針は、常にそれとは多少なりとも異なることを言い聞かせます。なぜなら、同時に患者にとってベストと考える診療方針が患者の中にあるからです。	
93	私は、病気はあなたのごく一面であり、普段のあなたにはかけがえのない生活や価値があることを、常に忘れません。	
54	私は、患者さんからインフォームドコンセントを得る際、一度に決めなくてよいこと、一人で決めなくてよいこと、決めたことを覆してもよいことを伝えます。また、患者さんが医療行為を理解することと同時に私が患者さんの生活の一部を理解することがインフォームド・コンセントには重要であることを話します。インフォームド・コンセントの場面では、自分が話す時間と同じくらい、自分が聴く時間を持つことを意識します。	
54	私は、患者さんに同意を得る際に、一度に決めなくてよいこと、一人で決めなくてもよいこと、決めたことを覆してもよいことを伝えます。	
54	私が治療について説明し、あなたが選択するとき、一度に決めなくてよいこと、一人で決めなくてもよいこと、決めたことを覆してもよいことを保証します。	
220	私は、患者さんの立場に立つことができません。むしろ、専門職の知識と価値観をもとに患者さんへのケアを考えることが専門職としての役割だと考えます。そのかわり、医師の立場で、患者さんの立場や考えを尊敬し、尊重するよう努力します。”	
220	私は、患者の立場には立ちません。立てないのです。そのかわり、医師の立場で、患者の立場を最大限尊重するよう努力します。そして、できる限りこれまでのあなたと今のあなたを知るよう努力します。	
144	私は、医学的観点から正しいと教えられた治療法が患者にとって最良の治療であると思込みがちです。さらには、自分の意見に同調する患者を「よい患者」と思込みがちです。だからこそ、私は私の中にある正しさをもつ独善性やあやうさに対して自問し続けます。	
144	私は自分の医療行為が正しいか自問しつづけます。その上で、現時点の正しい医療へ懐疑心を持ち、それを常に改訂し続けます。	
144	私は自分の医療行為がほんとうに適切なかを自問し続けます。	
144	私は自分の医療行為が正しいか、常に問い直します。	
8	私は、医師が患者に行うおせっかいの多くは患者にとってむしろ迷惑なものかもしれないと考えます。その上で、私は患者におせっかいを焼きます。	
N	私は、患者への診療方針を患者と決める際、診療ガイドラインや最新の文献的根拠を参考にしながら患者に意見を伝えます。一方で、診療ガイドラインや最新の文献的根拠はあくまで利用するためのものであり、従うものではないことを自分に言い聞かせます。	

ID	tweet	コメント
6	リスクと不確実性に向き合う	
6	私は、治療が常に患者さんを害しうることを忘れません。「害」を防ぐために安全なシステムづくりに励みますが、それでも患者さんが苦痛を受けたときは、全力で回復に努めます。そして同じことが二度と起こらないような対策を考えます。	
6	私は、治療が常に患者を害しうることを忘れません。「害」を防ぐために安全なシステムづくりに励みますが、それでも患者さんが苦痛を受けたときは、全力で回復に努めます。そして同じことが二度と起こらないような対策を考えます。	
6	私は、私の治療が常に患者さんを害しうることを知っています。患者さんにもそれを説明し、患者さんにも注意してもらいます。患者さんに起こることを観察し、好ましくないことが起きた場合は常にすみやかに対応します。	
154	私は、必要のない薬・治療・検査・検診、その他の医療的介入から、可能な限り、あなたを守ることを心がけます。	「守る」という言葉が引っ掛かっています。代案ないですか？
154	私は、必要のない薬・治療・検査・検診、その他の医療的介入を、可能な限り避けることを心がけます。	
154	私は、必要のない薬・治療・検査・検診、その他の医療的介入から、可能な限り患者を守ります	
154	私は、必要のない薬の処方、治療、検査、その他の医療的介入をしないよう心がけます。患者さんの不安と希望に耳を傾け、最適な方法を考えます	
118	医療に関して、私が患者さんに話す情報の多くは患者さんに不安を与える情報です。危険性について、客観的な数字を伝えることは大切ですが、過度に専門的な数字に患者さんが振り回されないよう、実際に患者さんにとって役に立つ情報に置き換えて伝える努力をします。	
118	私は、医学的に重要なことではなく、患者に役立つような言葉で話します。医学の不確実性を認識して、それを患者にわかりやすく説明し、最善の選択が出来るように支援します。	
118	私は、あなたの分かる言葉で伝えるように努力します。	
118	私は検査の値をただ伝えるより、患者に役立つような言葉で話したい。	
182	私は、医学の不確実性を認識して、それを患者にわかりやすく説明し、最善の選択が出来るように支援します。	
182	私は、医学の不確実性を認識して、それを患者さんにわかりやすく説明し、最善の選択が出来るように支援します。	
182	私は、自らが患者にとって良い事だという考えのもとに行った診療行為と、もたらされた結果を通じて、医療は患者に対してしばしば益と害を同時に与えるものだという事を学び続けます。	
182	私は、医療の不確実性を認識して、それを患者にわかりやすく説明し、最善の選択が出来るように支援します。	
196	私は最善と思って現在行っている医療行為が、医療の進歩や研究によって近い未来には正しくない判断されるかもしれないことを意識しながら、目の前の患者の診療にあたることを心がけます。	
196	私は最善と思って現在行っている医療行為が、医療の進歩や研究によって近い未来には正しくない判断されるかもしれないことを意識しながら、目の前の患者さんの診療にあたることを心がけます。	
187	私は、患者さんの診療に関していくつかの選択肢があるとき(常にいくつかあるのですが)、専門家の立場としてはこれを推奨したい、ということも伝えます。また、医師として強く勧めたいときには強く、患者さんの意向がより重要であると考えるときにはより謙虚にその推奨を伝えます。	
187	私は、患者さんの診療に関していくつかの選択肢があるとき(常にいくつかあるのですが)、専門家の立場としてはこれを推奨したい、ということも伝えます。	
46	私は、自らが患者にとって良い事だという考えのもとに行った診療行為と、もたらされた結果を通じて、医療は患者に対してしばしば益とともに害も与えるものだという事を学び続けます。そこに存在する危険を最小にする工夫をするとともに、危険を患者さんが理解し、受け入れながら医療を受けるための支援を行います。	
111	私は確率の高いほうに賭けるばかりが医療じゃないということも自覚した上で、確率についてのデータを分かりやすく示します。	
N	私は、私が担当する患者さんが民間療法など保険診療以外の治療的行為を受けている、もしくは、受けたいと考えていることを知った時、一概にそのことを否定することはしません。そのことを自分に伝えていただいたことに感謝します。医療以外の治療的介入については自分はよくわからないという立場を踏まえたうえ、医療の公共的な立場や医療が患者の利益に与える利益の度合いについて、改めて説明します。	
N	私は、私が関与した医療行為によって医療事故が発生したとき、それが自分からみて過失と考えられるものでなかったとしても、すまない気持ちを患者さんに対して正直に伝えます。また、患者さんやご家族が知りたいと思うことについて、可能な限り自ら相談に乗ります。	
N	私は常に患者さんのわかる言葉で話すよう努力します。(難聴、方言、外国語、専門用語などコミュニケーションの壁になるものを気にかけて)	
N	医療は不確実性をともないます。ご自身の健康の変化と経過について、注意深く観察してください。患者さん側と医療者側がともに注意深くなること、気をつけることで、より医療の安全性を高めることができます。	
N	私は医療がときに有害であることを忘れません。	

ID	tweet	コメント
◎患者の利益を想像し行動する		
15	私は、治療を開始する前に、患者さんとご家族が最も大切にしたいものを確認します。	
132	私は患者に「あなたにとって健康よりも重要なことは何か」と尋ねます	
53	私は、人の生の存続を脅かすものとの患者の戦いを支援するとともに、生の誕生の喜び、そして、生の終わりの尊厳を支えることも私の重要で仕事であると考えます。人は死ぬものであることを前提に、死を回避することと、良い死を支援することの両方を大切にします。	
53	私は、人の生の存続を脅かすものとの戦いを支援することとともに、生の誕生の喜び、生の活力、そして生の終わりの尊厳を支えます。	
53	私は、医師として、あなたが生きている間の健康をできるかぎり支え、そしてあなたのいのちが終わっていくことにも寄り添います。その過程で、あなたが最も大切にしたいものを尊重します。	
162	私はどんな状況でも希望を見つける努力を怠らないようににします	
162	私はどんな状況でも希望を見つける努力を怠らないようににします	
214	私はどんな状況でも希望を見つける努力を怠らないようににします。そして、たとえ患者さんの問題が解決できないものであっても、最後まで患者さんとともにありつづけます。	
214	私は、患者さんの問題が解決できないようなものであったとき、解決できないなりに専門職として自分にできることを探し続けます。同時に、自分よりも上手に問題に対処できる専門職がいる場合には、意固地にならずにその人に役割を引き継いでいただくことも考えます。	
106	私の心の中にある、患者さんの健康に寄り添うことに抗うものは、施設の経営、製薬会社などの利益への知らず知らずの加担、もめごとや裁判沙汰の回避、楽をしたいこと、そしてなにより、自分の医学的好奇心です。これらのことを私の心の中から一掃することはできませんが、常にこれらの思いが、目の前の患者さんの健康に対する脅威となっていないか自問し続けます。	
106	私は、自らの学問的好奇心、民間企業の営利、社会的利益などにより患者さん個人の不利益が生じる危険性を常に意識し、これらが患者さんの不利益を生じるかどうか常に自分を律し、観察しつづけます。	
106	私は自らの心に宿る敵は、経営のための安易な効率主義、外部からの利益供与、過剰な自己保身であることを認識します。そしてときに自らの医学的好奇心にさえ危険があることを認識します。	
106	私は、私の中のトラブルや訴訟への恐怖、利益や名誉を得たいという欲、そして時に医学的好奇心そのものが、私の判断を曇らせる、ということを常に意識します。	
N	わたしは、人工呼吸器など、本来命を救うための医療手段が却って患者さんに大きな苦痛を与え、人としての尊厳を奪ってしまうことを知っています。むやみやたらに延命を目的とした治療を場合によって差し控えたり、中止したりすることを考えます。一方で、ただ高齢であることを理由に延命には価値がないと判断することは決してしません。	
31	私は人生のために医療があるのであり、医療のために人生があってはならないと、毎日自分に言い聞かせます。	
90	私は、私の近くで突然人が倒れたら、とりあえずそばに駆けつけ、専門職としてその場でできることを行います。	
202	私は安易に患者さんの希望をかなえません。患者の健康や安楽を考えると同時に、社会全体の安楽と健康を考えて診療します。そして、時にはその一方、あるいは双方に制限を加えます。	
25	私は患者や医療を提供している地域を、自分の家族や故郷のように愛し続けます。	

ID	tweet	コメント
	①限界を認識したうえで最善を尽くす	
188	私は、目の前の患者さんの希望にそう事を実施する際、その医療提供を可能にしているシステムの持続可能性についても同様に重要な事として考慮します。	
188	私は、目の前の患者さんの希望にそう事を実施する際、その医療提供を可能にしているシステムの持続可能性についても同様に重要な事として考慮します。医療は公共性の高いサービスであり、医療リソースは公共財であるという観点ははずすべきではありません。国民皆保険制度は維持発展させなければならないと思います。	
188	私は、医療資源は有限であることを意識し、お互いに助け合っていきます。そして必要時には患者さんにも協力を求めます。	
19	私は自分のできることとできないことを患者さんに素直に提示します。他の専門医や、看護師その他コ・メディカル・スタッフで自分よりもっと役に立つ人の存在を積極的に認め、頼るように努めます。また、そのような役割の連携をスムーズに行うことができるよう、職種間や施設間の良好な関係を保つように配慮します。	
19	私は、可能なかぎりあなたの願いを聞いた上で、自分のできること、できないことをあなたに明らかにします。私にできないことを補ってくれる、地域の他の医療者や社会福祉サービスをあなたに伝え、最善に連携するように努力します。	
213	私は、自分自身の医師としての能力の限界を患者さんにつたえます。また、患者さんの健康を回復するために、医療自体にできることもほんの一部であることを伝えます。一方で、自分できないことも含めて患者さんに所望された時は、一概に理不尽な要求ととらえず、自分のできること、医療にできることについては支援できるかもしれないことを伝えます。	
213	私は、私自身の能力の限界を患者さんに明らかにいたします。その上で、自分の周囲にいる医療関係者や援助者と協力して医療を提供するように心がけます。そのための連携を改善するために努力します。	
213	私は、自分の能力の限界を認識し、また周囲からそのような助言を受けた場合には受け入れ、他への助けを求めます。	
213	私は自分のできないことを素直に提示し、できないことを補ってくれる方々と連携し最善を尽くします。	
74	私は、疲れ果てて心折れそうな医師が身近にいたら、少し休もう、暖かいお茶と一緒に飲もう、と声をかけます。そして彼/彼女の話を聴きたいと思います。	
74	私は、疲れ果てて心折れそうな医師が身近にいたら、少し休もう、暖かいお茶と一緒に飲もう、と声をかけます。そして彼/彼女の話を聴きたいと思います。	
10	私は、質の高い医療を提供する上では、十分な体調と心身のバランスが必要だと考えます。一生懸命やることより、効率よく仕事を行うことを優先します。一定の睡眠と休養とともにある就労環境を確保します。当直や夜勤明けに、自分が過度に疲れていると考えるときには、申し送りを済ませて休みをとります。仕事を早く済ませた後輩が早く帰ることを心理的にも邪魔しません。また、職場の職員全員が無理せず継続的に働くことを可能にする、職場環境を整えます。	
10	私は、質の高い医療を提供する上では、十分な体調と心身のバランスが必要だと考えます。一生懸命やることより、効率よく仕事を行うことを優先します。一定の睡眠と休養とともにある就労環境を確保します。当直や夜勤明けに、自分が過度に疲れていると考えるときには、申し送りを済ませて休みをとります。仕事を早く済ませた後輩が早く帰ることを心理的にも邪魔しません。また、職場の職員全員が無理せず継続的に働くことを可能にする、職場環境を整えます。	
10	私は専門職として、自己摂生に努め、万全の体調を整えます。またそのための環境整備に努めます。また、周囲と一緒に働いている人の健康にも留意します。	
180	私は一生懸命貴方の診療を続けたいと思います。そのためには社会的な環境整備が必要です。病気になったときだけでなく健康な今だからこそ、社会の中の医療を、医師や看護師の労働環境を、そして突然病気で倒れる人のことを考えてみてください。	
82	私は、病気や障害で失うものもあるが、得るものや気づくものがある、ということを知って欲しいと思い、援助の方法をチームで工夫します。	
N	医療もエネルギーをはじめとして様々な資源を使って運営されています。環境にやさしい、エコロジカルな医療をめざすことは持続可能性のあるヘルスケアシステムを作ることにつながります。私はエコな医療をめざします。	
N	私は、自分の専門外の健康問題を持つ患者に関する救急車の受け入れ要請があったとき、専門外であるからという理由だけでその要請を断ることはしません。そのかわり、一度拝見して自分の手に負えないと判断した際には、応急処置以上のことには手を出さず、ほかの対応可能な医療機関を探すようにします。	
N	私は一生懸命貴方の診療を続けます。そのためには社会的な環境整備が必要です。病気になったときだけでなく健康な今だからこそ、社会の中の医療を、医師や看護師の労働環境を、そして突然病で倒れる人のことを考えてみてください。	
N	最善をつくすというときに延命だけを連想してほしくないと思います。快適さやハピネスさを追求するというのも、やはり最善を尽くすということなんです。わたしは、ただ単に命をながらえることよりも、もっと一生懸命取り組む大事なこともあることを忘れないようにしたいと思います。	
N	私は、自分の患者さんを自分が担当し続けることの悪い面にも目を向けます。私が主治医を続けていることで、診断を見誤っていたり、不適切な治療が続けられている可能性を常に考えます。場合によっては、自分以外の同僚に担当を交代してもらったり、別の医師から自分の診療の適切性について自ら意見をもらうようにします。	

ID	tweet	コメント
	◎他者を受け入れ、反省する	
172	私が今医師として仕事ができるのは、私を指導してくれた先輩医師や看護師、コメディカル、そして患者のおかげです。だから私は、自分が得意としている医療技術を、分け隔てなく後進医師に伝授します。そして、後進に教えることで自分もまた学び続けます。	
172	私がここで医師として仕事ができるのは、私を指導してくれた先輩医師や看護師、コメディカル、そして患者さんのおかげです。私は教えられ続け、また教えることで自分も学び続けます。	
56	私は、自分が得意としている医療技術を、分け隔てなく、惜しげもなく後進医師に伝授します。	
56	私は、自分が得た知識や技術を、分け隔てなく、惜しげもなく他の人を共有します。医療における知識・技術を、多くの人に与える努力を怠りません。	
178	私は、患者さんからの質問でよく知らない事があった時、「よく知らないので今度までに調べておきます」と伝えます。後輩の前で知ったかぶりをせず、「自分もよく知らないので一緒に調べましょう。」と言います。そして、新たに自分が知った知識は、なるべく多くの人と共有するようになります。	
178	私は、人間として常に間違いをおかしうる存在です。だからこそ私の間違いを指摘してくれる人を大切にします。いつでも遠慮なく指摘してください。	
72	私は、若い医師に新しい手技を教える時に、必ず適応、準備、手技のコツ、伴う危険、施行後観察・確認すべきことを教えます。もちろん施行前に「今までにこの手技を何回やったことある？」と確認します。また、手術や処置を始めるとき、必ず麻酔医や看護師に「はじめて大丈夫ですか？」と声をかけます。	
55	私は、教科書からは医学に関する知識を、論文からは最新の知見を、偉大な先人からは生きた技術を、同僚や他職種の仲間からは臨床の知恵を、後輩からはあきらめかけていた情熱と気づきを、そして患者さんからは医療に関するすべてを学び続けます。	
55	私は、教科書からは医学に関する知識を、論文からは最新の知見を、偉大な先人からは生きた技術を、同僚や他職種の仲間からは臨床の知恵を、後輩からはあきらめかけていた情熱と気づきを、そして患者さんからは医療に関するすべてを学び続けます。	
177	私は他者の失敗を安易に責めず、むしろそこから学習します。でも不適切な医療行為は「それ、大丈夫？」と指摘します。みんなも指摘してくださいね。	
177	私は、仕事上で自分のした失敗から目をそむけず、その失敗によって不利益を得た患者さんや同僚に対して謝罪します。また、その失敗を必ず次への糧とするように心がけます。同時に、私の同僚がおかした失敗について、単純に責めるのではなくとも次への糧とするような方法を考えます。	
177	私は自らの至らない面、足りない部分を直視し、それを隠さないようにします。そして、その問題を克服するように常に努力します。	
177	私は他者の失敗を安易に責めず、むしろそこから学習します。不適切な医療行為は「それ、大丈夫？」声を掛けます。	
166	わたくしは、他の方達からのフィードバックを歓迎します。そして、もし同僚に問題があれば、適切にフィードバックいたします。	
166	私は私の間違いに気づいてくれる人を大切にします。	